

転車台周辺整備について

施設整備には住民意見の反映を

梶田進議員は、3月6日、日本共産党議員 整備問題と手数料値上げ問題などについて、団を代表して一般質問を行い、地域交流施設 次のように町当局の見解をいただきました。

住民の声が反映されていない

梶田進議員は、転車台周辺を整備する計画について、次のように町当局の見解をただしました。

不参加、住民説明会も開かれていません。

これで、本当に住民のみなさんに合った施設として整備可能なのか。どのように考えていますか。

地元が一番と考えている

答弁 地元を一番と考えているが、町内全域、遠くからこられる方も視野に入れていくことを考えている。

基本的には、意見をいただいて集約することが本来かもしれないが、意見が集約しきれなくなるおそれがあるので、意見がある程度まとめてから考えた。

産業と観光の拠点とは

梶田進議員質問

産業と観光の拠点としていますが、どのような施設を考えておられますか。

地域交流センターなど

答弁 武豊町のほぼ中央東側に位置し

ており、拠点を結んだ散策路「みそ蔵の小径」の出発点でもある。

大型観光バス駐車場も可能な駐車場、中心施設として「地域交流センター」、集客促進のための飲食系施設、トイレ、多目的広場の整備を考えている。

どのような整備内容か

梶田進議員質問

地域交流センターとして、どのような施設整備を考えていますか。

観光案内所など

答弁 港や鉄道に関係する資料展示、みそ・たまりの紹介・販売、観光案内所等の整備を考えている。

公害防止対策は

梶田進議員質問

公害防止のため、どのような緑化を考えておられますか。

緑化など考えている

答弁 臨港道路を通過する

車輛の環境負荷を軽減するための緑化、建物本体の騒音軽減などを考えた緑化を進める。

機能の役割分担は

梶田進議員質問 歴史民俗資料館の資料を一部移して展示するとしていますが、役割分担はどうなるのですか。

また、飲食系施設はどのような施設なのか、駐車場が110台規模で必要なのか。検討が不十分ではないですか。

方向性について検討

答弁 歴史民俗資料館は手狭になっており、一部移転したいと聞いている。

飲食系施設については、今

後どのような方に入ってもらえるのか、方向性についても含めて考えていきたい。

駐車スペースについては、イベントも行なうことも考えて確保した。

緑化スペースを広く

梶田進議員質問 公害対策として考えた場合、緑化スペースが少ない。もっと広くすべきではありませんか。

可能な限り増やしたい

答弁 可能な限り増やしていきたいと考えている。

予算編成に当たって

住民の暮らし・福祉優先で

梶田進議員は、平成24年度予算編成に当たって、日本共産党が要望した144項目の要望がどのように活かされたかを中心に、次のようにただしました。

企業への奨励金廃止を

梶田進議員質問

大企業優遇となる固定資産税・都市計画税を実質3年間ゼロにする産業立地奨励金は廃止すべきです。

奨励金は続ける

答弁 工場立地の促進、雇用拡大を図り、産業振興と町民生活の安定に寄与するので、現行どおり実施します。

手数料の引き上げ中止を

梶田進議員質問

現在100円の住民票、印鑑証明などの発行手数料を200円に引き上げるとは中止すべきです。

「行革」に基づく

答弁 「第5次行政改革」



代表質問を行う梶田進議員（3月6日）